

2017年業績集

論文

〔原著〕

Tachibana K, Saito M, Imai J, Ito E, Yanagisawa Y, Honma R, Saito K, Ando J, Momma T, Ohki S, Ohtake T, Watanabe S, Waguri S and Takenoshita S. Clinicopathological examination of dipeptidase 1 expression in colorectal cancer. *Biomedical Reports*. 201703; 6(4):423-428.

Tachibana K, Shibata M, Gonda K, Matsumoto Y, Nakajima T, Abe N, Ohtake T, Ohto H, Kono K, Takenoshita S. IL-17 and VEGF are increased and correlated to systemic inflammation, immune suppression, and malnutrition in patients with breast cancer. *European Journal of Inflammation*. 201712; 15(3):219-228.

Ando J, Saito M, Imai J, Ito E, Yanagisawa Y, Honma R, Saito K, Tachibana K, Momma T, Ohki S, Ohtake T, Watanabe S, Waguri S, Kono K, Takenoshita S. TBX19 is overexpressed in colorectal cancer and associated with lymph node metastasis. *Fukushima Journal of Medical Science*. 201712; 63(3):141-151.

Gonda K, Shibata M, Ohtake T, Matsumoto Y, Tachibana K, Abe N, Ohto H, Sakurai K, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells are increased and correlated with type 2 immune responses, malnutrition, inflammation, and poor prognosis in patients with breast cancer. *Oncology Letters*. 201708; 14(2):1766-1774.

Bhardwaj A, Singh H, Rajapakshe K, Tachibana K, Ganesan N, Pan Y, Gunaratne PH, Coarfa C, Bedrosian I. Regulation of miRNA-29c and its downstream pathways in preneoplastic progression of triple-negative breast cancer. *Oncotarget*. 201703; 8(12):19645-19660.

Hara T, Iwadate M, Tachibana K, Waguri S, Takenoshita S, Hamada N. Metastasis of breast cancer cells to the bone, lung, and lymph nodes promotes resistance to ionizing radiation. *Strahlentherapie und Onkologie*. 201710; 193(10):848-855.

芦澤 舞, 岡山洋和, Aung Kyi Thar Min, 野田 勝, 青砥慶太, 中島隆宏, 石亀輝英, 三村耕作, 河野浩二. ミスマッチ修復機構欠損を有する大腸癌における MicroRNA による PD-L1 制御機構. *癌と化学療法*. 201710; 44(10):889-891.

阿部宣子, 佐治重衡, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 【黄体ホルモン up to date】 乳腺疾患と黄体ホルモン. 産婦人科の実際. 201705; 66(5):619-624.

〔総説等〕

立花和之進, 大竹 徹, 佐治重衡. 【乳癌のすべて】 診断・治療の進歩 再発 luminal type 乳癌に対するあらたな治療戦略. 医学のあゆみ. 201704; 261(5):473-477.

木村 隆, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明, 横山 斉, 後藤満一, 竹之下誠一. 若き外科医からの提言 わたしたちの将来の外科医療を見据えて 新米外科教授からの提言 医学生教育、外科専門医研修に主眼をおいた外科学講座再編 福島の新たな挑戦. 日本外科学会雑誌. 201709; 118(5):593-596.

〔症例報告〕

阿部貞彦, 阿部宣子, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 畠山優一, 六角裕一, 大竹 徹. 潜在性乳癌を疑う 1 例. 癌と化学療法. 201712; 14(12):1095-1097.

野田 勝, 立花和之進, 仲野 宏, 阿部貞彦, 村上祐子, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 破骨細胞様巨細胞の出現を伴う乳癌の 1 例. 癌と化学療法. 201712; 44(12):1185-1187.

研究発表等

〔研究発表〕

Okano M, Okayama H, Ohtake T, Kawaguchi T, Yan L, Qi Q, Liu S, Takabe K. Clinical Relevance of Annexin A1 in Triple-negative Breast Cancer Patients. 12th Annual Academic Surgical Congress; 20170207; Las Vegas, USA.

Okano M, Kawaguchi T, Okano I, Katsuta E, Takabe K. Development of advanced pre-clinical in vivo models of metastatic breast cancer. San Antonio Breast Cancer Symposium; 20171205-09; San Antonio, USA.

青砥慶太, 河野浩二, 中島隆宏, 野田 勝, 吉田清香, 阿部宣子, 立花和之進, 岡野舞子, 大竹 徹. 乳癌における化学療法が惹起する Immunogenic tumor cell death の検討. 第 14 回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

阿部貞彦, 阿部宣子, 立花和之進, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹 徹, 田崎和洋. 潜在性乳癌との鑑別が困難だった腋窩部乳癌の 1 例. 第 14 回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

立花和之進, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 大竹 徹. 破骨細胞様巨細胞の出現を伴う乳癌の 1 例. 第 14 回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

野田 勝, 阿部宣子, 吉田清香, 立花和之進, 岡野舞子, 阿部貞彦, 大竹 徹. 若年性乳癌に対する治療戦略. 第 14 回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

阿部宣子, 阿部貞彦, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 乳癌における PET-CT による術前の腋窩リンパ節転移の評価. 第 117 回日本外科学会定期学術集会; 20170427-29; 横浜.

仲野 宏, 立花和之進, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹 徹. 破骨細胞用巨細胞の出現を伴う乳癌の 1 例. 第 4 回臨床外科学会福島支部会; 20170513; 郡山.

阿部貞彦, 阿部宣子, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 畠山優一, 六角裕一, 大竹 徹. 潜在性乳癌を疑う 1 例. 第 39 回癌局所療法研究会; 20170623; 京都.

野田 勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 破骨細胞用巨細胞の出現を伴う乳癌の 1 例. 第 39 回癌局所療法研究会; 20170623; 京都.

立花和之進, 岡野舞子, 岡山洋和, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田 勝, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹 徹. トリプルネガティブ乳癌における Annexin A1 の発現と臨床病理学的因子との関連および予後の検討. 第 25 回日本乳癌学会学術総会; 20170713; 福岡.

野田 勝, 阿部宣子, 吉田清香, 立花和之進, 岡野舞子, 阿部貞彦, 大竹 徹. 若年者乳癌の臨床病理学的検討. 第 25 回日本乳癌学会; 20170714; 福岡.

村上祐子, 立花和之進, 遠藤英成, 岡野舞子, 長塚美樹, 阿部宣子, 吉田清香, 佐久間威之, 松寄正實, 片方直人, 野水 整, 大竹 徹, 竹之下誠一. 再発乳癌 43 例に対する Eribulin Mesylate 使用経験. 第 25 回日本乳癌学会; 20170714; 福岡.

吉田清香, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 大竹 徹. 進行再発乳癌に対する Bevacizumab+Pacritaxel 療法後の薬物療法の検討. 第 25 回日本乳癌学会; 20170715; 福岡.

星 信大, 阿部曉人, 室井 望, 林 光弘, 浦住幸治郎, 中山浩一, 阿部宣子, 大竹 徹. 乳腺コレステロール肉芽種の 1 例. 第 22 回日本外科病理学会; 20171111; 宇都宮.

村上祐子, 野田 勝, 立花和之進, 仲野 宏, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 破骨細胞用巨細胞の出現を伴う乳癌の 1 例. 第 22 回日本外科病理学会; 20171111; 宇都宮.

野田 勝, 阿部宣子, 吉田清香, 立花和之進, 村上祐子, 作山美郷, 大竹 徹. アロマターゼ阻害薬耐性進行・再発乳癌に対する治療選択. 第 15 回福島県乳癌研究会; 20171118; 郡山.

〔特別講演〕

大竹 徹. マンモグラフィガイドラインの変更点と解説. 第 43 回 NPO 法人マンモグラフィ精度管理中央機構主催マンモグラフィ更新講習会; 20170211; 名古屋.

大竹 徹. 進行再発乳癌に対するベバシズマブ併用療法のポジショニング. 第 14 回日本乳癌学会東北地方会; 20170304; 仙台.

大竹 徹. あなたに知ってほしい、乳がんのこと. 平成 29 年度福島市健康セミナー; 20170530; 福島.

大竹 徹. 平成 27 年度福島市乳がん検診成績について. 平成 29 年度福島市医師会乳がん検診精度管理研修会; 20170613; 福島.

阿部宣子, 大竹 徹. 平成 27 年度福島市検診発見乳がんのマンモグラフィ読影解説. 平成 29 年度福島市医師会乳がん検診精度管理研修会; 20170613; 福島.

大竹 徹. アバスチン併用療法の位置付け. Meet the Expert at まかび; 20170614; 那覇.

大竹 徹. アバスチン併用療法の位置付け. 乳がん Expert Meeting; 20170616; 群馬県渋川市.

野田 勝, 阿部宣子, 仲野 宏, 村上祐子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. HER2 陽性転移・再発乳癌に対するベバシズマブ併用療法の使用経験. Fukushima Breast Cancer Symposium 中外製薬; 20170630; 郡山.

大竹 徹. 乳がん検診の精度管理と最近の動向. 平成 29 年度会津乳がん検診研修会; 20170718; 会津若松.

大竹 徹. 乳癌治療における薬物療法の進歩. いわき乳腺疾患研究会; 20170721; いわき.

大竹 徹. 知っておきたい女性の病気 -乳がんの予防と早期発見-. 平成 29 年度鏡石町保健医療交流事業; 20170801; 鏡石.

大竹 徹. 乳癌化学療法における支持療法. 中外 乳がんテレビ講座; 20170901; 郡山.

立花和之進. 今あらためて乳癌を考える. 患者会 ピンクのリボン; 20170909; 福島.

大竹 徹. HER2 陽性進行再発乳癌の治療戦略. 会津乳がん治療セミナー; 20170919; 会津若松.

大竹 徹. 乳がん診療の進歩. 第 30 回がん治療懇話会; 20171020; 郡山.

大竹 徹. 乳癌患者さんが知っておくべきこと. 第 12 回坪井病院乳がん患者会; 20171021; 郡山.

大竹 徹. 乳がんの外科治療. 福島県立医科大学公開講座 がん外科治療最前線 (乳がん・前立腺がん編) ; 20171119; 福島.

大竹 徹. 知っていますか? 乳がんのこと. 平成 29 年度福島県診療放射線技師学術大会 一般公開講演; 20171119; 福島.

〔招待講演〕

立花和之進. MD Anderson Cancer Center. エーザイ社内勉強会; 20170620; 福島.

立花和之進. 乳癌の治療選択に関して. 協和発酵キリン社内勉強会; 20170822; 福島.

野田 勝, 阿部宣子, 仲野 宏, 村上祐子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 進行・再発 luminal type 乳癌に対するフルベストラントの使用経験. 郡山 BC ワークショップ アストラゼネカ; 20170915; 郡山.